

## 2022年度 人文社会科学部後援会支援事業報告書

報告者：法律経済学科 福田智子

事業区分：学生の教育研究活動支援

実施内容：実地学習（三菱UFJ信託銀行信託博物館への視察）の交通費補助

実施日：2022年12月26日（月）

参加学生数：12人（3年生、4年生）

### ◆ 三菱UFJ信託銀行信託博物館への視察訪問

本年は信託法が制定されてちょうど100周年に該当します。信託とは「大切な人のため、財産を確実に引き継いでいきたい」という人々の思いに応えて生まれた、財産を安心して他者に託すことができる仕組みです。約千年前の中世イングランドで誕生し、イングランドやアメリカはじめ世界の多くの国において、今日まで進化・発展を続けてきました。日本においても信託法に基づき組成された信託商品は金融商品の9割を占めるなど、信託制度は現代社会においてかかせないストラクチャーとなっています。このような信託の歴史や今日の姿について理解を深めるため、民法I（財産法）ゼミナールでは、2022年12月26日、東京駅近辺（丸の内）にある三菱UFJ信託銀行信託博物館を訪問し、信託に関する研究を行いました。

（三菱UFJ信託銀行信託博物館前）



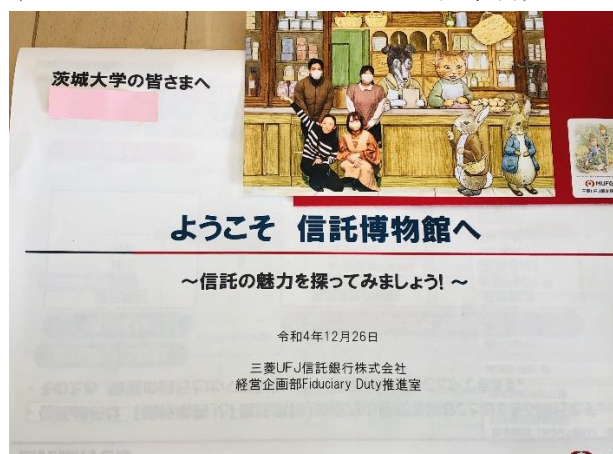
当日 2 グループに分かれ、博物館長から信託に関する講演を聴講した後、博物館長のご案内の下、信託を設定した著名人の遺言、鉄道車両の信託プレート、日本に信託が紹介された最初期の本（『英國衡平法』1888年）、信託会社の貯金箱など（これらすべて著作権の関係により写真撮影不可）、信託に関する貴重な展示物を鑑賞し、信託に関する理解を深めました。

(友松館長の講演を聴講するゼミ生)



金融教育のための見学ツアー後、『ピーターラビットのおはなし』の舞台となった英国湖水地方ニア・ソーリ村のいくつかの場面イラストをバックにグループで写真を撮り、博物館から絵葉書として参加者全員が頂きました。友松館長はじめ、信託博物館の方々には、この場を借りて御礼申し上げます。

(レジュメとピーターラビットの絵葉書)





#### ◆ 交友を深めるためのグループ活動

三菱UFJ信託銀行信託博物館への視察訪問後、ゼミナールメンバーの交友を深めるため3つのグループに分かれ、グループごとに様々な交友活動を行いました。コロナ感染拡大によりゼミ合宿等のゼミナールメンバーでのグループ活動が行えていなかったため、交友を深める貴重な機会となりました。その後、ゼミナールメンバーで会食をし、東京駅周辺でイルミネーション鑑賞を行いました。コロナ感染などにより、残念ながらゼミナールメンバー全員が参加することはできませんでしたが、参加者はほぼ一日、有意義な時間を共有することができました。

(散策と夜の会食)



4年生だけでなく、3年生も先輩と様々な経験を共有することができ、大学生活の思い出になったように思います。このような貴重な機会を下さった人文社会科学部後援会に対し、心から厚く御礼申し上げます。なお、後援会からの支援は水戸から東京までの公共交通機関（交通費）に充てさせて頂きました。誠にありがとうございました。

以上